

ジャパンリンクセンター拡大運営委員会（第2回）議事録

- 日時 : 令和7年7月7日（月）10:00 ～ 12:00
- 形式 : オンライン
- 参加者 : 国立情報学研究所 武田 英明（委員長）
- *敬称略 国立国会図書館 小林 芳幸
物質・材料研究機構 田辺 浩介
大学 ICT 推進協議会 (AXIES) 上田 哲史
日本生態学会 大澤 剛士
東京大学大学院 大向 一輝
医学中央雑誌刊行会 黒沢 俊典
中西印刷株式会社 中西 秀彦
京都大学附属図書館 野中 雄司
三重大学 三角 太郎
科学技術振興機構 岩島 真理、植松 利晃、平尾 義郎、藤沢 仁子、酒井 康平、
赤荻 寿子、前田 容那（事務局）
- 欠席者 : 科学技術振興機構 江森 正憲（副委員長）
国立環境研究所 白井 知子
- 議事 : 1. 「ジャパンリンクセンター ストラテジー 2023-2027」ロードマップ
中間見直しについて
2. 令和7年度「対話・共創の場」開催について
3. メタデータ登録用新データベースの検討および性能検証結果の報告
4. JaLC の近況

議論の結果：

- (1) 「ジャパンリンクセンター ストラテジー 2023-2027」ロードマップ 中間見直しについて
- ・ 新たなコンテンツへの DOI 付与について
 - リソースタイプの追加など、DataCite の動向をみて追従しているのが現状だが、関係者で分科会を立ち上げて議論していくというのも一つの手だろう。また、JaLC として目指すところのフレームワークや、予想外の (コンテンツ登載の) 要望がきた時に対応できるよう判断基準やガイドラインようなものがあるとよい。
 - DOI はこれまで、それ自身が ID であるというスタンスだったが、他の (ローカルな) ID システムの受け皿として DOI 解決させるという新たな役割が出てきている。今後 JaLC にそのような要望がくるか分からないが、検討の余地はあるだろう。
 - ・ コミュニティの潜在的な参加者の下支えになる情報発信等について
 - DOI に興味がある人や、機関で新たに DOI 関連の担当になった方のために、DOI の概要やメリットについて一枚紙にまとめられた使いやすい資料があるとよい。資料や動画コンテンツについては、必要とする人の目にとまるよう出し方を検討する。

- ・ メタデータスキーマの定義について
 - JaLC のメタデータ項目の追加や変更は、連携先のメタデータの送り手、受け手ともに影響があるため、連携機関との調整についてロードマップで示すのがよい。
- (2) 令和7年度「対話・共創の場」開催について
 - ・ テーマ案について複数の案があげられた。今後、対話・共創の場企画委員会にて議論し、企画を進める。
- (3) メタデータ登録用新データベースの検討および性能検証結果の報告
 - ・ 会員から受け取ったメタデータを分解せずそのまま入出力する方式は性能上高速という結果が出ているが、新規登録の場合であり、既存メタデータの修正の場合はどうかなど、多角的な検討が必要。場合によっては、アプリケーション側での対応が必要だろうという、という指摘があった。

以上